

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2009年(平成21年)6月2日(火曜日)

(第三種郵便物認可)

建設業界特化型のブログポータル

建設総合ブログ Construction Cyber Community

<http://www.kenblog.jp/>

CSRとランドスケープ融合

環境への配慮とデザイン、その双方を満足させる。CSRデザイン&ランドスケープ設計事務所(本社・東京都中央区、平松宏城代表)は、環境性能評価の国際基準である「グリーンビルディング(LEED)」の認証取得コンサルティングやビルの屋上の緑化計画を手がけている。ランドスケープアーキテクトの視点から、「環境・社会・経済」というトリプルボトムラインの問題に対してソリューション(解決策)を提案する(平松代表)という。

平松代表は、1984年に大阪外大インドネシア語学科卒業、19年間、日米の証券会社に勤務、うち4年はニューヨークに在住した。2002年にメリルリンチ証券マネージャングディレクター(債券部門)からランドスケープデザインの世界に転身した。

CSRデザイン&ランドスケープ設計事務所を起したのは06年で、04年から構想していた。「まだ世の中にはCSR(企業の社会的責任)も定着していなかった。最初は環境やCO₂(二酸化炭素)削減への関心も今ほどではなかった。だが、「企業の果たすべき、環境・社会・経済



CSRデザイン&ランドスケープ設計事務所

代表 **平松 宏城氏**



都市の環境性能
高める投資後押し

というトリプルボトムラインの中で、環境責任を公的部門がすべて背負うわけにいかないため、企業の果たすべき役割があると思った。今では隔世の感がある」と話す。

以来、金融システムと連携をとりながら、一貫して持続可能なランドスケープの推進に努めてきた。

「後発であるため、何か『武器』を持たなければ聞いてもらえない」。そこで、LEED(グリーンビルディング)という格付けに着目した。「環境性能の評価システムがあることを米国の視察で知り、優れたシステムだと思っただ。LEEDのことを勉強し、コンサルティングしながら企業に提案する手がかりにした

と感じた」。06年6月に米国でLEEDの公認コンサルタント(AP)の資格を取得した。いまでは日本でも資格が取得できるようになり、30人を数えるAPだが、当時は日本で2人目だった。

「環境面のリスクに敏感な投資や金融の世界でも、責任投資原則(PRI)や責任不動産投資原則(RPI)という新しい『ルール』ができてきた。個々の不動産の環境性能を上げ、それをインフラがつかないでいけば、都市の環境性能も高まる。そこに投資の資金を後押しするようなシステムができないかと考えている」。いま、自らがそのトラックレコード(成功事例)をつくってみようと、建築、設備、インテリアデザインなどとパートナーシップを

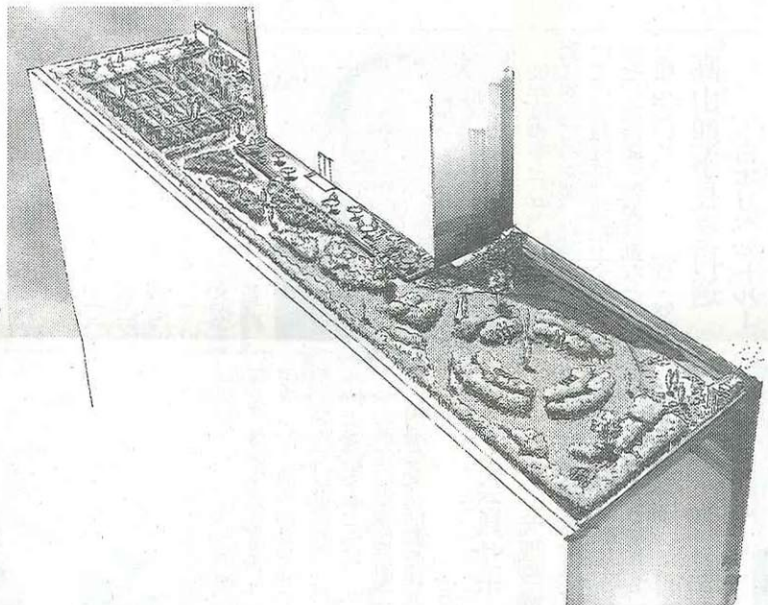
環境配慮とデザインを満足させる

組み、賛同を得ている。

「何よりもこだわりを持っているのは、「できるだけ現場に近いところで施工管理、設計監理し、仕事をしたいと考えている。施工をする親方といっしょに現場に出て、自分で植物、土、水に触れ、デザインする」。これまでに手がけた案件は20件を超え、1年に7、8件を数える。作品はいろいろ、在来種を使うこと、侵略性の高い植物や水、肥料をたくさん欲しがるもの、消毒しなければいけないものは使わないことを心がけている」という。

また、「日本の造園・庭園技術、文化は世界に認められている。世界標準の認証制度

を一度取り入れ、日本の文化を加味しながら世界に発信すれば、日本だからできるポテンシャルも秘めている」とも。「環境のことを考えて街を造り替えなければならぬように」になってきた。チャンスは無尽大にあると思っている



会社概要

- ▷設立—2006年4月3日
- ▷所在地—〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-28-12 第三博公ビル
- ▷電話番号—03-3523-7108
- ▷ファクス—同7109
- ▷資本金—1,000万円
- ▷事業内容—環境経営コンサルティング事業、ランドスケープ設計・施工・管理・トータルコーディネーション、投資顧問業(SRI調査)、不動産コンサルティング、公園・造園・室内空間の装飾の企画設計、地域開発・環境整備の調査研究受託
- ▷URL=<http://www.csr-design.com/>
- ▷電子メール=<http://www.csr-design.com/inquiry/index.php>